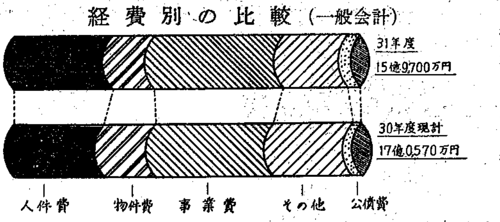
昭昭31年度 新潟市歳入歳出予算

歳入 科目	予算額	総額に対する千分比	歳出 科目	予算額	総額に対する千分比
	円	‰		円	‰
1 市税	925,083,323	579.1	1 議会費	22,480,589	14.1
2 公営企業及財産収入	22,183,618	13.9	2 市役所費	384,441,151	240.7
3 分担金及負担金	1	—	3 消防費	76,590,308	47.9
4 使用料及手数料	78,932,676	49.4	4 土木費	137,785,289	86.2
5 国庫支出金	232,905,072	145.8	5 教育費	285,623,922	178.8
6 県支出金	18,599,524	11.7	6 社会及労働施設費	244,929,712	153.4
7 寄附金	45,600,004	28.5	7 保健衛生費	194,339,205	121.7
8 繰越金	1	—	8 産業経済費	55,849,184	35.0
9 雑収入	58,732,498	36.8	9 財産費	7,081,662	4.4
10 繰入金	7,000,000	4.4	10 統計調査費	648,529	0.4
11 市債	208,400,000	130.4	11 選挙費	3,099,882	1.9
			12 地方振興費	7,507,750	4.7
			13 公債費	54,566,161	34.2
			14 諸支出金	117,493,373	73.5
			15 予備費	5,000,000	3.1
歳入合計	1,597,436,717	1,000.0	歳出合計	1,597,436,717	1,000.0

経費別の比較（一般会計）



いますが、予算と致しましては、補助率の引上等の関係もあり二千四百万円の負担金を計上致したのでございます。第四は産業の振興についてでございまして、これが市勢の進展上欠くべからざる要素であることは申す迄もないところでありまして、商工業関係及び農林関係につきそれぞれ必要なる経費を計上致したのでございますが、特に重点を指向致しましたものは、商工業関係におきましては災害復興をも勘案致しまして中小企業に対する金融措置の強化の為の損失補填金及び出資金を計上し、農林関係におきましては農業機械化の問題であり、又病虫害の予防、零細漁業の助成補導等を行わんとするものであります。第五は民生安定施策の面でございます。御承知の通り経済情勢は概ね順調裡にあるとは申し乍ら、生活困窮者、失業者、住宅困窮者等の数は依然として増加の傾向を辿つている状況でございますので、これらの人々に対する施策に必要なる経費である生活保護費、失業対策事業費、その他は極力これを確保致したのでございます。

以上が三十一年度予算編成上特に重点を指向した面でございますが、その他市役所費関係におきましては鳥屋野支所移転に要する経費を計上し、又消防力の強化につきましてもあの大惨事を再び繰返さぬ為極力これが整備を図ることとして、高圧消防車及び普通消防車各一台を新規に購入すると共に、可搬式ポンプ購入費、貯水槽新設費、その他所要の整備費を計上致したのであります。

次に土木関係につきましては、明年度は特に本市将来の発展の基礎を築く為、都市計画事業の強力なる推進を図ることを主眼と致しまして、街路事業費二千百余万円、区画整理事業費三千七十万円、その他新潟駅前負担金一千五百余万円等を計上致したのでございます。その他保健衛生費におきましては、第五年度を迎える下水道新設費に一億二百五十万円を計上して愈々これが工事の進捗を図ると共に、前年度に引続きし尿消化槽工事費に一千三百余万円を計してこれが早期完成を極力推進して、年度後半の操業開始により難局に直面するし尿対策に一歩を進め、又北部住民より強く要望せられておる済生会病院増築に際し、これが市民病院的運営を期待してこれら市民の医療に対する不安を除去するため、これが敷地を購入貸与するに要する経費を計上し、諸支出金におきましては、新新潟駅建設負担金六千二百四十万円をその大部を寄附金に予定して計上すると共に、只今申上げました済生会病院の建設資金として三十年度に引き続き二千三百万円を転貸するに要する経費を計上致したのであります。

◇才入◇

次に才入予算につき申上げます。

歳入予算の見積りにつきましては、先程少しく申上げましたとおり、財政の現状に鑑み見込み得る財源はすべてこれを計上することと致したのでございますが、まず歳入区分は総額に対しまして税収入は五七、一%九億二千五百余万円となり、税外収入は四二、九%六億七千二百余万円と相成るのでございます。

然して税外収入中主要なるものは国庫支出金の一四、五%二億三千二百余万円、市債の一三%二億八百余万円、使用料、手数料の四、九%七千八百余万円等でございます。

尚税収入につきましては、税法の一部改正が行われるやに仄聞致しておるのでございますが、本案は現行税法に基き計上致したのでございまして、税制改正後においては一部補正を行うべき要素を含んでおることを申添えますと共に、使用料中高等学校授業料、幼稚園保育料、道路占用料等は財政の現状並びに本県の例等に準じ増額改正を行うことと致したのであります。

又税外収入中一言申上げたいことは、災害復興事業費財源に充てる為市営弥彦競輪を実施致したいと考えまして、先般来これが手続きを進めておつたのでございますが、本年一月これが開催につき自治庁長官の指定を受けましたので、本予算案において二百万円の繰入を予定致したのでございます。

然して最後に附言致したいことは、事業費予算計上に伴う補助金、市債等の見積りにつきましては財政の現状より相当程度の額を見込んでおるのでございまして、これが獲得につきましては凡ゆる努力を傾注する所存でございますが、この点各位におかれましても全面的御協力を賜りたいと念願する次第でございます。

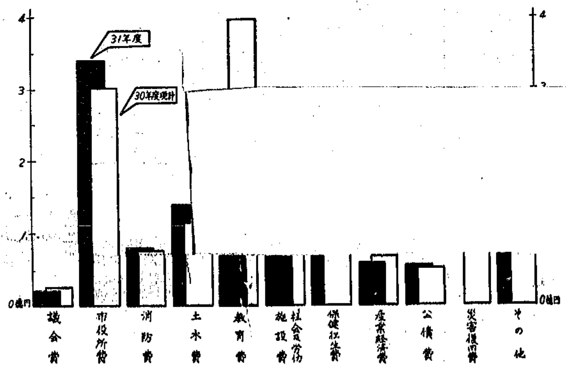
◇特別会計◇

次に議案第二号乃至第九号各特別会計予算案につき御説明申上げます。

まず水道事業会計におきましては、二億三千二百余万円の予算を編成致したのでございますが、これは前年度当初予算と比較致しまして五千百余万円の増加と相成つておるのでございまして、これが増加の原因は主として拡張工事費の増加によるものでございます。

然して本予算編成の方針と致しましては、一般経営費につきましては他会計におけると同様極力これを圧縮致しまして、経営の合理化を図ると共に、先般の議会において御協賛を得ました使用料改正による増収財源並びに起債財源等によりまして、第二年度を迎える拡張工事並びにその他施設の改良を強力に推進する

30年度現計との比較



年々激増の一途を辿っているのでございまして、この為現在は一日三万五千五百立方米の計画配水量施設より一万二千立方米程度を上廻る四万七千立方米を配水し、辛うじて給水を続けておる実情でございまして、現施設の配水能力は既にその限界に達しておるのでございます。かかる実情でございますので現在水不足の最も甚だしく且工業地帯として本市発展の将来を担う東新潟地区に対する給水の確保並びに昨年の大火に鑑み、消防水利強化の見地より東西両地区の完全給水の実現は焦眉の急務であると存ずるのでございまして、この為三十一年におきましては前年に引続き九千万円の工事費を計上し、五カ年計画による第三次拡張工事を強力に推進せんとするものであり、昭和三十二年迄に二億円の工事費を投じまして一万屯の給水増加を実現し、以て窮状甚しい現在の水不足を解消するよう最善の努力を傾注する所存でございます。

尚この外当面する本年夏の水不足の対策と致しましては、初の試みとして水管のクリーニング及び漏水防止等を計画して最大の努力を致しますと共に給水車を配置する等の措置を講じ、市民サービスの向上に万全を期す所存でございます。

次に住宅会計におきましては、一般会計説明の際申上げました通り、本市住宅事情は災害による関係もあり愈々深刻な状況を呈しておりますので、これが打開の為一般会計より八百余万円を繰入れますと共に既設住宅の売却等による財源を予定致しまして、各種公営住宅計百五十二戸建設に要する経費四千八百余万円を計上致しました外、分譲住宅百戸を建設することとして七千八百五十万円を計上し、その他既設住宅の維持管理費等を計上致したのでございます。

次に公益質舗会計におきましては、総額一千六百余万円を以て庶民金融機関としての使命達成に万遺憾なきを期し、又国保会計におきましては、一般会計より一千万円を繰入れまして総額二億九百余万円の予算を編成致したのであります。

然して本事業運営の健全化につきましては、鋭意検討を続けておるのでございますが、新医療体系その他国保運営に重大な影響を与える諸点の決定をまち全面的にこれが検討を致したいと存じておるのでございます。

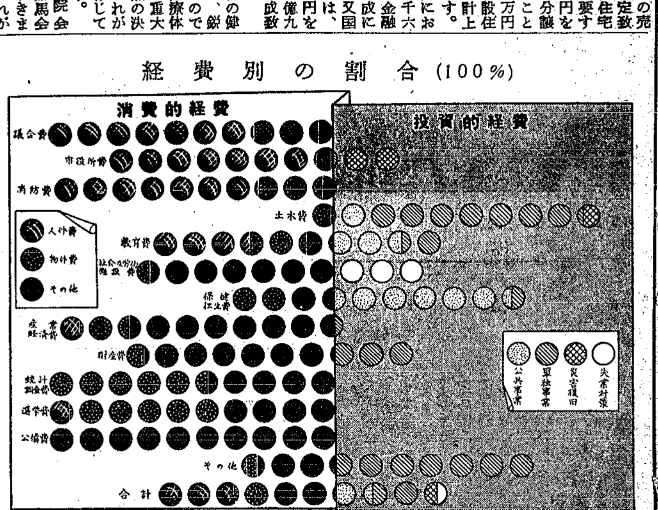
次に健康保険病院会計、公会堂会計、競馬会計及び競輪会計におきましては、それぞれこれが運営に必要なる経費を計上致したのでございますが、この中競馬会計においては五百万円の一般会計への繰出金を予定し、又競輪会計におきましては、とりあえず二回開催に要する経費を計上致しますと共に二百万円の純益を予定して一般会計へ繰入れ復興事業財源に充当致したいと存じておるのでございます。

◇むすび◇

まことに昭和三十一年度は復興事業を初めとする各種重要事業が山積する反面財政の現状は楽観を許さぬものがあるのでございますが、私と致しましては全力をあげて財源の獲得に努め、市勢の進展と市民福祉の向上に最善の努力を致したいと存じておりますので、各位におかれましても一層の御支援御協力を賜りたくお願い申上げる次第でございます。

最近10カ年財政推移の概況

(単位千円)

年度＼区分	歳入 合計	歳入 一般会計	歳入 特別会計	歳出 合計	歳出 一般会計	歳出 特別会計	摘要
21年	28,842	21,019	7,823	25,627	18,604	7,023	決算
22	104,595	84,420	20,175	87,452	72,105	15,347	〃
23	381,969	337,696	44,273	333,058	295,319	37,739	〃
24	746,425	598,931	147,494	679,434	540,232	139,202	〃
25	952,614	737,896	214,718	877,334	670,385	206,949	〃
26	1,208,195	932,332	275,863	1,078,993	820,924	258,069	〃
27	1,455,833	1,150,061	305,772	1,372,038	1,078,713	293,325	〃
28	1,730,371	1,284,309	446,062	1,687,871	1,284,955	402,916	〃
23	1,871,209	1,322,383	548,826	1,843,158	1,310,143	533,015	〃
30	2,292,313	1,705,700	586,613	2,292,313	1,705,700	586,613	3月現計

経費別の割合（100%）